

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和07年02月28日

計画の名称	北部九州地域における自動車産業等活性化戦略（広域的な物流の効率性向上）												
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	福岡県												
計画の目標	北部九州地域においては、平成21年から29年の間に1.3倍と製造品出荷額は増加しており、その主力産業である自動車産業、半導体関連（※）等の事業活動は、近年成長している。九州北部地域（福岡県、大分県、熊本県）のこの主力産業の事業活動を促進するためには、基盤整備などが必要である。 この地域では、北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを戦略的に進めており、この発展に寄与するような広域的な物流結節点（空港・港湾・高速道路IC・貨物ターミナル駅）との相互アクセス性や物流の効率性を高め、北部九州地域における産業経済活動の国際競争力の向上と地域の自立を促進させる。 （※全国に占める割合：自動車生産台数16.8%[H29]、集積回路出荷額30.7%[H27]）												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		8,384	A	8,384	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成29年	令和4年	令和6年
1	【福岡県・大分県・熊本県 共通目標】 製造品出荷額等132,787億円(H29)から145,065億円(R6)に増加（12,278億円（9.2%）の増加）			
	【福岡県・大分県・熊本県 共通目標】 製造品出荷額 （製造品出荷額の増加割合）＝（評価時点の年間製造品出荷額－H29の年間製造品出荷額）／（H29の年間製造品出荷額）	132787億円	141486億円	145065億円
2	【福岡県内 単独目標】 製造品出荷額等96,900億円(H29)から105,200億円(R6)に増加（8,300億円（8.6%）の増加）			
	【福岡県 単独目標】 製造品出荷額 （製造品出荷額の増加割合）＝（評価時点の年間製造品出荷額－H29の年間製造品出荷額）／（H29の年間製造品出荷額）	96900億円	102700億円	105200億円

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）福岡直方線・小伏 工区	現道拡幅 L=1.2km	宮若市	■	■	■			507		－
	A11-002	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）直方鞍手線・２期 工区	バイパス整備 L=0.72km	鞍手町	■	■	■			453		－
	A11-003	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）直方鞍手線・猪倉 工区	現道拡幅 L=0.5km	鞍手町	■	■	■	■	■	487		－
	A11-004	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）飯塚福岡線・金生 工区	バイパス整備 L=2.32km	宮若市	■	■	■	■	■	1,162	1.33	－
	A11-005	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）芹田石丸線・芹田 工区	バイパス整備 L=0.69km	宮若市	■	■	■	■	■	766		－
	A11-006	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）中畑八屋線・４期 工区	バイパス整備 L=0.52km	豊前市	■	■	■			157		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-007	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）岡垣宗像線・山田 工区	バイパス整備 L=1.5km	岡垣町	■	■	■	■	■	1,493	1.80	－
	A11-008	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）小竹瀬田線・勢田 工区	現道拡幅、バイパス整備 L=1.36km	飯塚市	■	■	■	■	■	476		－
	A11-009	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）高田天道停車場線 ・椋本3期工区	現道拡幅 L=1.2km	飯塚市	■	■	■	■	■	293		－
	A11-010	港湾	一般	福岡県	直接	福岡県	重要港 湾	改良	荻田港 港湾改修事業（ 南港2号地1号線）	臨港道路 L=1,350m	荻田町	■	■	■	■	■	400		－
		B/C未記入の理由：交付要綱附属第2編ハ表2（1）備考の除外規定に該当																	
	A11-011	港湾	一般	福岡県	直接	福岡県	重要港 湾	改良	三池港 港湾改修事業（ 内港北1号線）	臨港道路 L=2,280m	大牟田市	■	■	■			340		－
		B/C未記入の理由：交付要綱附属第2編ハ表2（1）備考の除外規定に該当																	
A11-012	港湾	一般	福岡県	直接	福岡県	地方港 湾	改良	宇島港 港湾改修事業（ 臨港1号線・3号線）	臨港道路 L=1,220m	豊前市	■	■	■	■	■	700		－	
	B/C未記入の理由：交付要綱附属第2編ハ表2（1）備考の除外規定に該当																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-013	港湾	一般	福岡県	直接	福岡県	重要港 湾	改良	荻田港 港湾改修事業（ フェリー埠頭 2 号線）	臨港道路 L=500m	荻田町		■	■	■	■	150	—	
		B/C未記入の理由：交付要綱附属第2編ハ表2（1）備考の除外規定に該当																	
	A11-014	港湾	一般	福岡県	直接	福岡県	重要港 湾	改良	荻田港 港湾改修事業（ フェリー埠頭 4 号線）	臨港道路 L=850m	荻田町		■	■	■	■	250	—	
		B/C未記入の理由：交付要綱附属第2編ハ表2（1）備考の除外規定に該当																	
	A11-015	港湾	一般	福岡県	直接	福岡県	重要港 湾	改良	荻田港 港湾改修事業（ 南港 1 号線）	臨港道路 L=2,300m	荻田町		■	■	■	■	750	—	
		B/C未記入の理由：交付要綱付属第2編ハ表2（1）備考の除外規定に該当																	
											小計						8,384		
											合計						8,384		

中 間 評 価	
○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
福岡県県土整備部道路建設課にて、中間評価を実施	令和7年2月
	公表の方法
	福岡県ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和5年2月に（主）福岡直方線・小伏工区(A11-001)の現道拡幅が完成供用したことにより、ICと拠点施設、拠点施設相互間のアクセス性が向上した。 【効果事例】 A11-001：（主）福岡直方線・小伏工区の現道拡幅により、宮田工業団地から香椎ポートパークまでのアクセス時間が短縮（整備前：54分、整備後：53分）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、自動車産業の製造品出荷額が一時的に減少したが回復傾向にある。また、半導体産業は、半導体の需要拡大により製造品出荷額は増加傾向である。 ・令和4年5月に策定された「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想」のもと、世界に選ばれる電動自動車(EV)の開発・生産拠点の形成に向けた企業誘致や地元企業の電動車分野への参入支援への取組が加速しており、北部九州地域における自動車産業等の活性化が今度とも見込まれる。 ・事業中の要素事業については、計画期間内に完成又は部分供用するよう事業進捗を図り、広域的な物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性を高めることにより、事業効果の発現を目指す。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	北部九州地域の製造品出荷額等 132,787億円 (H29) から141,486億円 (R4) に増加（6.5%増）		
	中 間 目 標 値	141486億円	広域的な自動車産業等活性化に向けたルートの整備のほか、令和2年中九州横断道路北側復旧道路の供用、令和4年の東九州自動車道（苅田北九州空港 I C～行橋 I C）の一部4車線化など、福岡県、熊本県、大分県間の広域的な物流ルートの整備が進捗したことにより、物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性が向上し、目標値を上回ることができた。
	中 間 実 績 値	147936億円	
2	県内の製造品出荷額等 96,900億円 (H29) から102,700億円 (R4) に増加（6.0%増）		
	中 間 目 標 値	102700億円	広域的な自動車産業等活性化に向けたルートの整備のほか、令和2年中九州横断道路北側復旧道路の供用、令和4年の東九州自動車道（苅田北九州空港 I C～行橋 I C）の一部4車線化など、福岡県、熊本県、大分県間の広域的な物流ルートの整備が進捗したことにより、物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性が向上し、目標値を上回ることができた。 宮若市製造品出荷額（拠点施設「宮田工業団地」）：H29 10,032億円 →R4 11,315億円 鞍手町製造品出荷額（拠点施設「鞍手工業団地」）：H29 1,009億円 →R4 1,205億円
	中 間 実 績 値	103300億円	